

調書番号	施設名	担当課名	外部評価 〔アドバイザー評価〕		H25評価結果 〔二次評価(施設所管部再評価)〕		評価に対する対応状況		
			評価者	評価区分	見直し必要性	説明	見直しの方向	説明	
1	19	宝石美術 専門学校	産業支援 課	A	要改善	有	<p>本校が、本県の代表的な地場産業であるジュエリー産業の発展により一層貢献できるよう、今後も業界及び学生のニーズに合ったカリキュラムの見直しや学生募集など運営面における工夫を引き続き実施するとともに、これまでと同様、効率的な学校経営に努めていく。</p> <p>また、ジュエリー業界の変化に対応するために、高度な技術の習得が可能となるようなカリキュラムの導入や業界と一体となった人材育成、県内への就職の促進等についても検討する。</p>	実施方法等の変更	<p>宝飾産業の市場規模縮小が加速するなかで、業界からの要望、卒業生や在校生へのアンケート結果などを勘案し、宝飾産業を取り巻く環境の変化に的確に対応できる高度な技術力、デザイン力、商品開発力を有する人材を育成するため、修業年限を延長し、カリキュラムを再編する。</p> <p>具体的には、平成27年度入学生から修業年限を2年から3年に1年間延長し、少数できめ細かな指導を実施するため1学年の定員を50人から35人に減らす。また、基礎科目の充実を図るとともに、3年次に専門性強化科目を新設しより高度な技能の修得を目指す。更に、産業界との連携を強化しより実践的な企業実習を導入するとともに、国際化へ対応するための実践的な語学学習を実施する。</p> <p>なお、新カリキュラムに必要な備品整備については、平成26年度より順次実施するとともに、引き続き効率的な学校経営に努めていく。</p>
				B	要改善				
				C	要改善				
2	20	なかとみ 青少年自然の里	社会教育 課	A	廃止	有	<p>施設全体の利用者が減少し、特に青少年の利用が減少していく中で、当初の設置目的にそぐわない利用実態となっている。</p> <p>また、県立施設と町立施設が一体として運営されていることが、管理を複雑化している。</p> <p>平成26年度末までに、県立施設の町への譲渡又は廃止について、身延町と調整を図りながら検討を進める。</p>	実施方法等の変更	<p>「県立の宿泊施設」と「町立の体験活動施設」が一体として機能し、管理運営されている当該施設においては、県の施設のみを一方的に見直すことはできず、身延町との調整を図りつつ進めることが必要となる。平成26年度末までに、町への譲渡又は廃止について検討を進める。</p>
				B	要改善				
				C	譲渡				